

抗 議 文

米原子力潜水艦オリンピア及びコロンビアの横須賀基地への相次ぐ入港に強く抗議する。横須賀基地は原子力潜水艦の母港ではない。原子力潜水艦はただちに出て行くこと。そして今後、いっさい入港しないことを要求する。。

米海軍第7艦隊司令官 ロバート・トーマス中将 殿
在日米海軍司令官 テリー・クラフト少将 殿
米海軍横須賀基地司令官 ディビット・グレニスター大佐 殿

2014年11月6日

原水爆禁止神奈川県協議会
神奈川県労働組合総連合
新日本婦人の会神奈川県本部
神奈川県商工団体連合会
神奈川県平和委員会
安保廃棄神奈川県統一促進会議
原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会

11月2日午前10時15分、ロサンゼルス級攻撃型原子力潜水艦オリンピア、11月5日午前9時49分、ロサンゼルス級攻撃型原子力潜水艦コロンビアが、相次いで横須賀基地に入港した。原子力潜水艦の入港は今年11回目、原子力艦船の入港も13回目で通算894回となった。10月20日からの16日間で米原潜ルイヴィル、ハワイ、オリンピア、コロンビアと立て続けに寄港している。このような異常な事態は、冷却水漏れ、巨大地震による原子炉事故などの放射能事故・汚染被害の危険に、神奈川県民をさらすものである。断じて許すことができない。

首都圏や三浦半島で巨大地震の発生確率が高まっていて、神奈川県民は、地震による原子力艦船の原子炉事故に強い不安を抱いている。われわれはこれまで、再三にわたって米軍に対して、巨大地震による原子力艦船の事故の可能性や影響、対策について検証し情報を公開することを要求してきたが、米軍は一切無視している。県民の要求に誠実に答えようとしない中で、原潜の横須賀港へのたび重なる入港は到底許されない。この事態に強く抗議するとともに、改めて巨大地震による原子力艦船の原子炉事故の可能性や影響、対策について明らかにすることを要求する。

米原潜の核兵器搭載の可能性は否定できず、「核持ち込み」の問題も重大である。核密約によって核が横須賀に持ち込まれていたことはすでに明らかになっている。わが国は、非核3原則を国是としている。神奈川県も横須賀市も、非核3原則を県是・市是としている。米軍は、核を積んでいないことを証明すると同時に、核「密約」はただちに破棄することを要求する。

米軍は、この間、南シナ海や東シナ海などにおいて様々な軍事演習をくり返し、北東アジアの軍事的緊張をもたらしている。今回の米原潜オリンピア、コロンビアの横須賀入港もこのような中での入港、行動であり、横須賀基地を戦争の拠点にすることに強く抗議する。

横須賀基地は原子力艦船の母港ではない。原子力潜水艦コロンビアは、ただちに横須賀から出て行くとともに、今後、横須賀港に原子力潜水艦の入港をやめることを要求する。また、原子力空母の横須賀母港もただち撤回することも併せて要求する。

以 上